

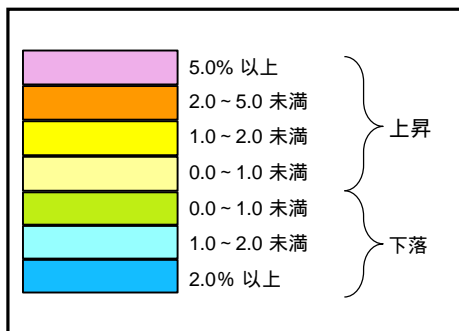
5 . 名古屋圏の住宅地

()は前年変動率

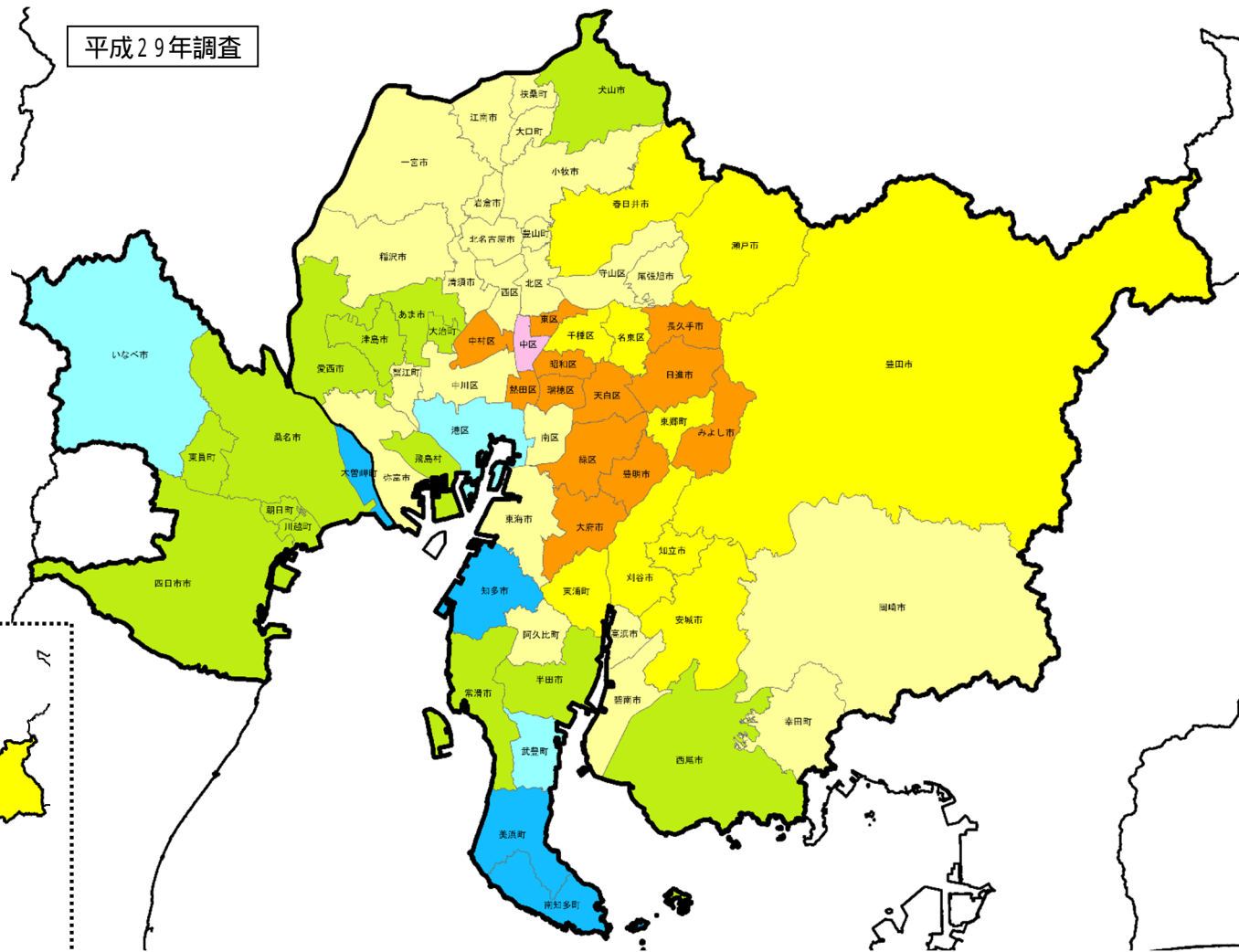
愛 知 県	<p>名古屋市では、1.4%上昇(1.4%上昇)。上昇が続いている区が多く見られ、上昇幅が昨年より拡大した区も見られる。</p> <p>・ 特に名古屋市中村区、昭和区、熱田区では、マンション素地需要が堅調で、上昇幅が昨年より拡大した。</p> <p>尾張地域及び西三河地域では、上昇が続いている市町が多く見られ、上昇幅が昨年より拡大した市町も見られる。</p> <p>尾張地域西部及び知多地域では、下落が続いている市町村が見られる。</p>
三 重 県	<p>四日市市では、 0.5%(0.5%)。</p> <p>圏域全ての市町では、下落が続いている。</p>

市区町村別の状況（名古屋圏・住宅地）

平成29年調査



※変動率0.0%の場合、小数点第2位以下の数値を考慮し、色分けをしている。



平成28年調査

